

区立施設マネジメント計画に関する ワークショップ

～西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の
更新等に関する検討(第2回)～

令和6年5月25日(土)
杉並区政策経営部企画課
施設マネジメント担当

本日のテーマとゴール

(テーマ) 対象施設を取り巻く状況や建て替え時の課題について考えよう！

(ゴール) 対象施設を取り巻く状況や建て替え時の課題について理解を深めることができた！



▲西宮中学校



▲宮前図書館



▲さざんかステップアップ
教室「宮前教室」



▲ゆうゆう大宮前館



▲大宮前保育園

ワークショップ全体のスケジュール・テーマ等

	回	日程	テーマ(予定)
土台作り 情報共有	第1回	4月20日(土)	ワークショップの目的、公共施設マネジメントの内容、対象施設について知ろう！
	第2回	5月25日(土)	対象施設を取り巻く状況や建て替え時に生じる課題について考えよう！
	第3回	6月22日(土)	対象施設を取り巻く状況や建て替え時の課題について考えよう！ 施設整備において大事にしたいこと・大切な視点を考えよう！
(プラン)の 取組案 検討	第4回	7月13日(土)	区が作成したたたき台(複数プラン)を比較・検討し、各プランのメリット・デメリット等を整理しよう！
	第5回	8月31日(土)	第4回の意見や地域意見交換会等の意見を踏まえて区が改善もしくは新たに作成したたたき台(複数プラン)を比較・検討し、各プランのメリット・デメリット等を整理しよう！

※進捗に応じて回数や内容が変更になる場合があります。

○ワークショップ参加者以外の方の意見を聞いていくため、第4回と第5回の間(7月中旬～8月中旬)に、対象施設の周辺住民等を対象とした意見聴取(ポスティング)を実施するとともに、地域意見交換会を開催します。

○ワークショップや地域意見交換会、ポスティングによる意見聴取等でいただいた意見を踏まえ、最終的に区が計画(案)に記載する取組案を決定します。

本日(第2回)のプログラム

時間(予定)	内容
14:30~14:45	第2回のテーマ及び前回の振り返り
14:45~15:00	区からの説明① (西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会について)
15:00~15:10	全体での質疑応答 (区からの説明①で気になった点等の解消タイム)
15:10~15:20	区からの説明② (西宮中学校について)
15:20~15:30	区からの説明③ (宮前図書館・さざんかステップアップ教室「宮前教室」について)
15:30~15:40	休憩
15:40~16:30	グループワーク (区からの説明②③で気になった点等の解消タイム)
16:30~16:50	全体共有 (他の班でどのような意見が出ているか確認)
16:50~17:00	事務連絡

※会の進捗に応じて、時間が変更になる場合がございます。

前回の振り返り

【資料】

○ワークショップニュース

○第1回ワークショップで出た主な意見と区からの回答
～西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の更新等に関する検討～

区からの説明①

- ・西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会について

【資料】

- 西宮中学校 & 宮前図書館 改築ニュース(第2号)

全体での質疑応答(10分)

区からの説明②

- ・西宮中学校について

西宮中学校について

杉並区教育ビジョン2022推進計画（抜粋）

●基本方針3 学び合いと教え合いが広がる教育環境の整備・充実を図ります

1 基本的な考え方

「人生100年時代」を自分らしくいきいきと生きるためには、誰もが学び続けられ、必要に応じて学び直すことができる環境を、身近な地域に整える必要があります。そのためには、**学校や図書館等の教育施設を、区民が生涯にわたって豊かに学ぶことができる施設とする**とともに、**人が交わりつながる基盤となる「学びのプラットフォーム※」**として**整備**することにより、学び合いと教え合いが広がる教育環境の整備・充実を図ります。

2 現状と課題

小中学校をはじめ多くの教育施設は、昭和30年（1955年）代から40年（1965年）代にかけて建築され、老朽化による改築時期を迎えています。改築時期が集中することから、**コストの削減を図りながら計画的に整備を進める**必要があることに加え、**ユニバーサルデザインの採用や地球温暖化対策等の課題にも対応**していく必要があります。学校施設を改築するに当たっては、何よりも子どもたちのための教育施設であることを大切にしながら、**地域の拠点となる開かれた学校**として多くの区民の施設需要に応えるとともに、**将来の児童・生徒数の減少を見据えた、柔軟性のある施設づくり**が求められています。

※**学びのプラットフォーム**：身近な学校を、放課後や休日など、学校教育以外の場面で子どもたちや地域のために活用したり、社会教育施設をこれまで以上に活用したりすることで、区民誰もが世代を超えて学び合い、教え合うことができる場を広げていこうとする区独自の考え方

学びのプラットフォーム イメージ

学びのプラットフォーム

生涯にわたり 自分らしく 豊かに生きる ための みんなで つながる 学びの場

子どもと大人の 学びの場

子どもと大人の 学びの場

学校教育タイム

放課後居場所タイム



子どもと大人の 学びの場

社会教育タイム

充実 学び合い、教え合い、かかわり合いが生まれる「場」の創出

発展

始動

- 利用調整システム 導入校の拡大
- 新たな室場の開放

- 地域のハブとなる人材による 学びのコーディネート、 スキルアップの学び合い (社会教育士等の活躍)

- 利用者の自主的な情報発信

- 利用調整のシステム化
- 子どもの居場所づくり

- 学校支援本部の活動支援
- 社会教育士等の活用

- 区からの情報発信 コンセプトの周知 既存の活動の情報

【施設活用の推進】

【地域人材の活動支援】

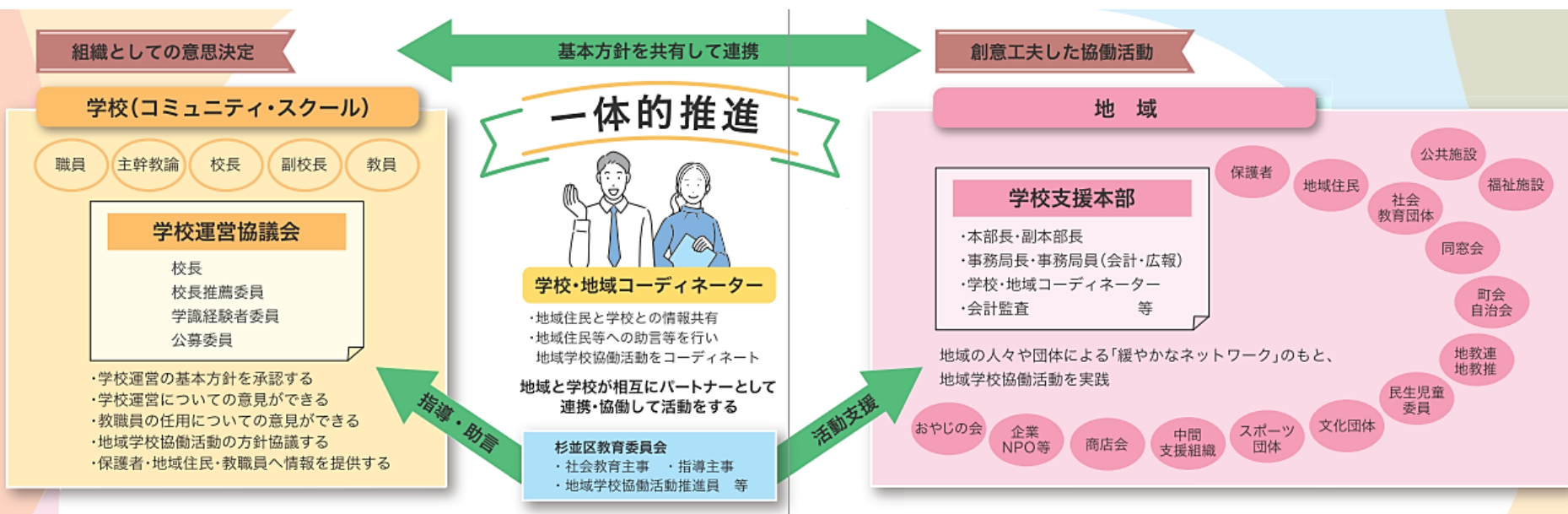
【情報発信】

行政課題として

- ◆安全・安心な施設利用 → 動線を確保した施設整備
- ◆教員の負担軽減 → 施設の管理のあり方検討
- ◆関係区民の負担軽減 → 地域単位の既存の取組みの連携

学校と地域の関わり

- 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）
- 学校支援本部（地域学校協働活動）



●震災救援所



西宮中学校の授業時間外の体育館・校庭等の使用について

～部活動～

使用場所	体育館	校庭	テニスコート
活動日数	バスケットボール部(男女) 週5日	野球部 週4日	テニス部(男子) 週2日
	バレーボール部(女子) 週4日	サッカー部 週3～4日	テニス部(女子) 週2日

～学校開放～

使用場所	体育館	校庭	テニスコート
主な種目	バスケットボール バレーボール ※計3団体	野球 サッカー ※計2団体	テニス ※計6団体
活動日数	週4日	週2日	週3日

※現在、西宮中学校では会議室開放は行ってません。

【将来を見据えた教育環境の確保】

●安全・安心で、快適に過ごせる学習・生活空間の整備

地震等の自然災害に対する安全性の確保、施設のバリアフリー対応 等

●多様な教育に対応できる学習環境の整備

少人数教室の整備、多目的スペースの整備、特別支援教室の整備 等

●地域の拠点となる開かれた学校づくり

開放諸室（会議室、体育館、校庭利用）の整備、防災拠点の機能強化、学童クラブ、地域図書館、コミュニティふらっと等との複合化への取組 等

●将来転用可能な柔軟性のある施設づくり

社会情勢や施設需要の変化に応じた柔軟性のある施設づくりの推進 等

●環境に優しい施設づくり

太陽光発電（再生可能エネルギー）、建物の断熱化やLED照明の採用 等

西宮中学校の諸室面積について

■ 西宮中学校の諸室面積について

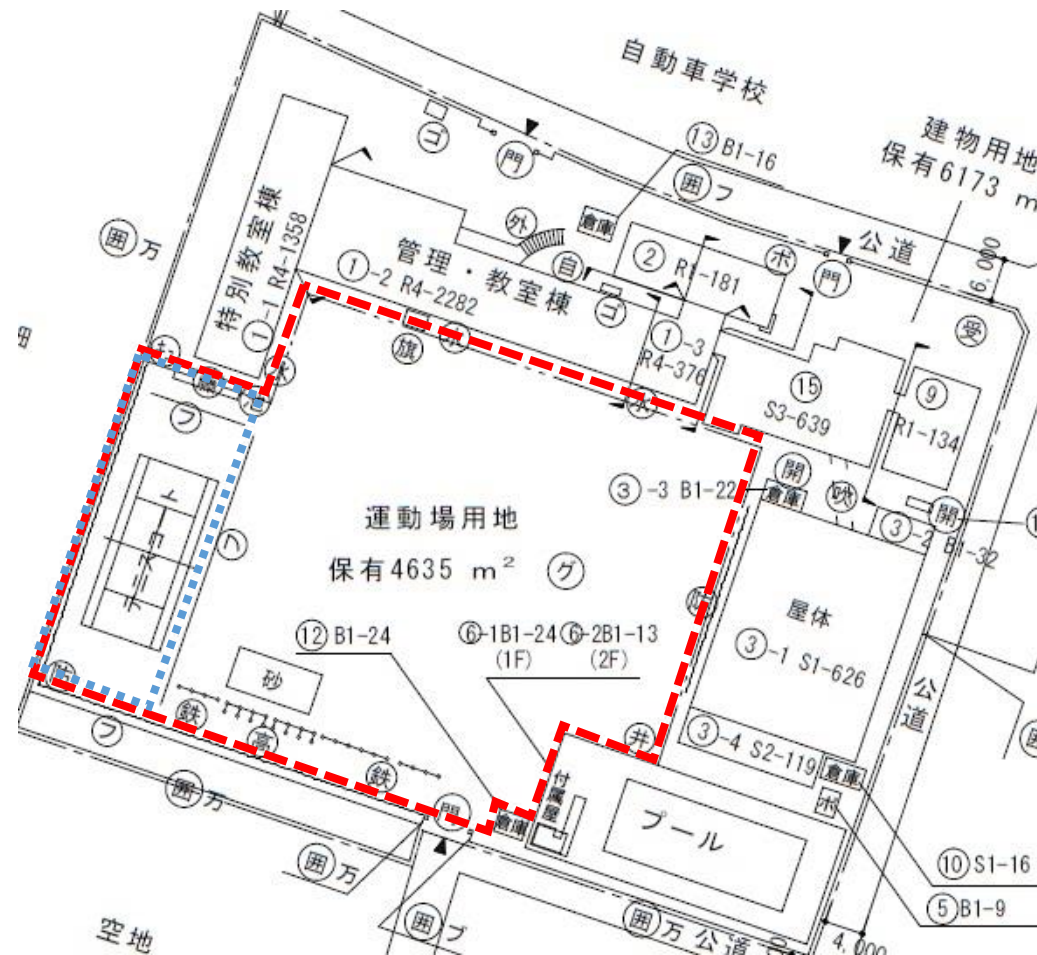
～『杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）』（R3.3）～

用途分類		現状面積	改築面積（想定）
校舎	普通教室（10学級）	698㎡	720㎡
	特別教室・準備室	1,675㎡	1,706㎡
	管理・その他諸室	2,358㎡	3,120㎡
	プール付属施設	46㎡	100㎡
	特別支援教室	55㎡	72㎡
屋内運動場・付属諸室		799㎡	1,006㎡
その他	給食調理諸室	181㎡	286㎡
	学校開放諸室	26㎡	181㎡
	屋外倉庫等	56㎡	136㎡
総 計		5,893㎡	7,327㎡

※プールは屋外プールを想定しており、床面積に算入していません。

改築時の主な課題①

●校舎には必要な諸室や機能を備えた上で、一定程度の広さの校庭が必要です。



◇現在の運動場は、左図
範囲で約4400㎡

◇内、テニスコート部分は、左図
範囲で約800㎡

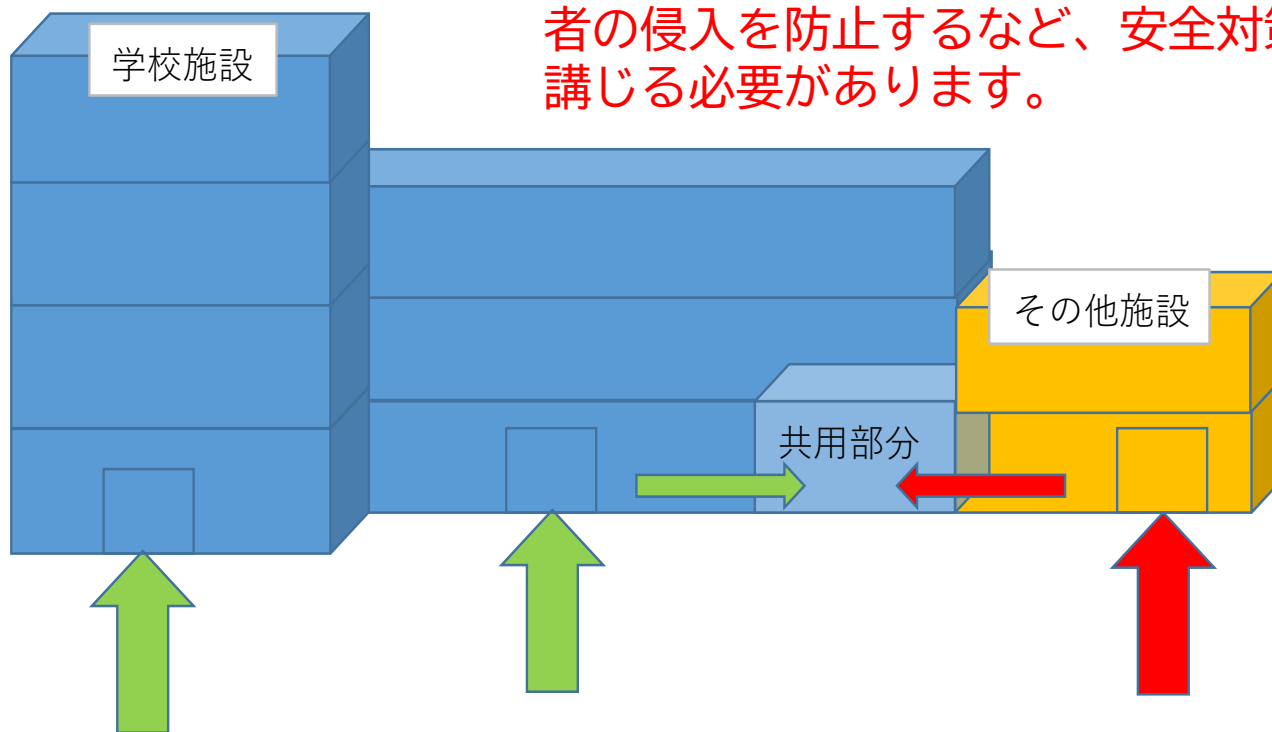
◇差引、現在の「まとまった校庭面積」
は約3600㎡

改築時の主な課題②

●生徒の生活の場である学校では、安全・安心の確保が必要。特に他施設と複合化する場合は動線を分けるなど、安全・安心に配慮した施設計画が必要です。

例：それぞれの施設への動線及びそれぞれの施設から共用部分への動線

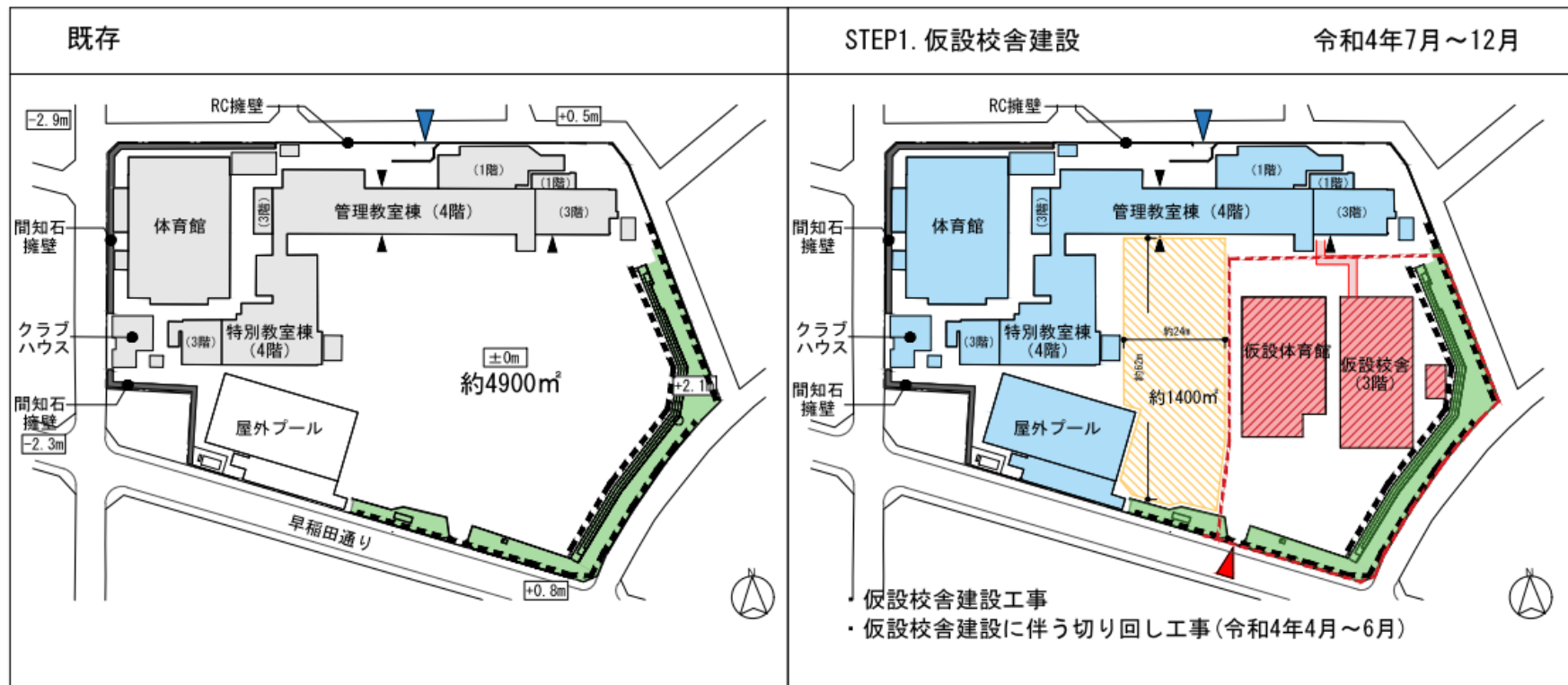
※共用部分を設ける場合、そこを通じたの不審者の侵入を防止するなど、安全対策を十分に講じる必要があります。



改築時の主な課題③－1

●一般的に現地改築の場合、仮設校舎を校庭に整備することになります。その際の学校運営や部活動等への配慮、対応が必要です（代替地等）。

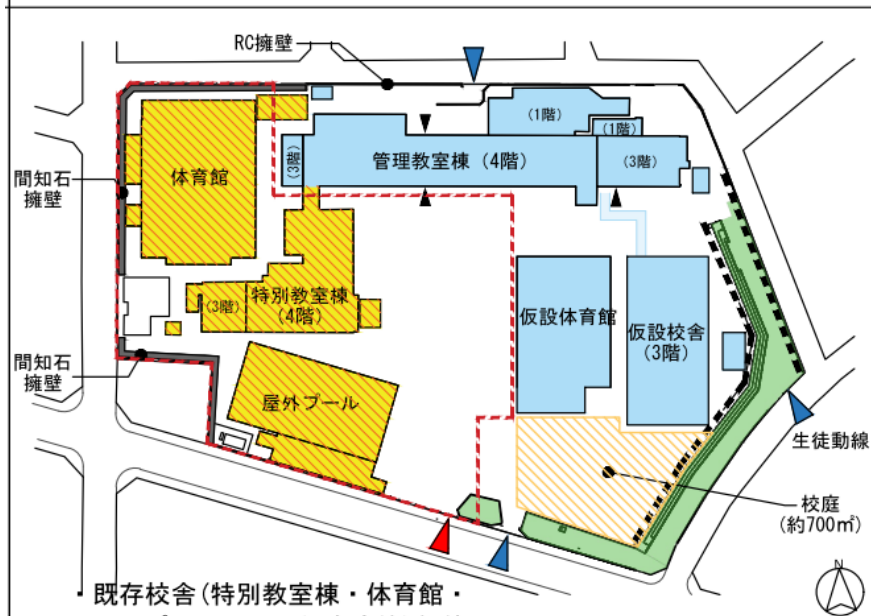
■中瀬中学校工事ステップ図（参考図）



改築時の主な課題③-2

STEP2. 既存校舎一部解体

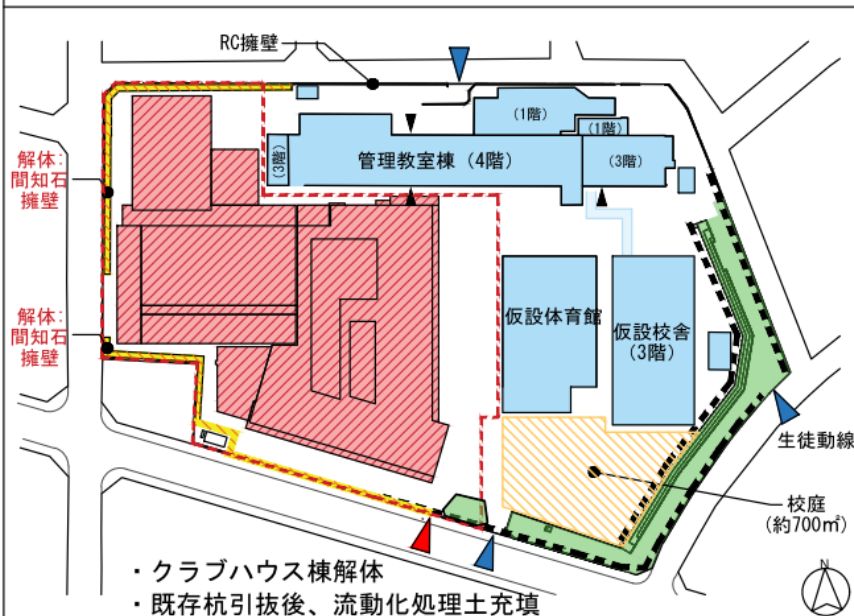
令和5年2月～7月



- 既存校舎(特別教室棟・体育館・屋外プール・その他倉庫等)解体
- 生徒は管理教室棟及び仮設校舎を使用

STEP3. 本校舎建設

令和5年11月～令和7年11月



- クラブハウス棟解体
- 既存杭引抜後、流動化処理土充填
- 既存擁壁(間知石)解体
- 新校舎建設工事

凡例

工事中

解体中

使用中

仮囲い

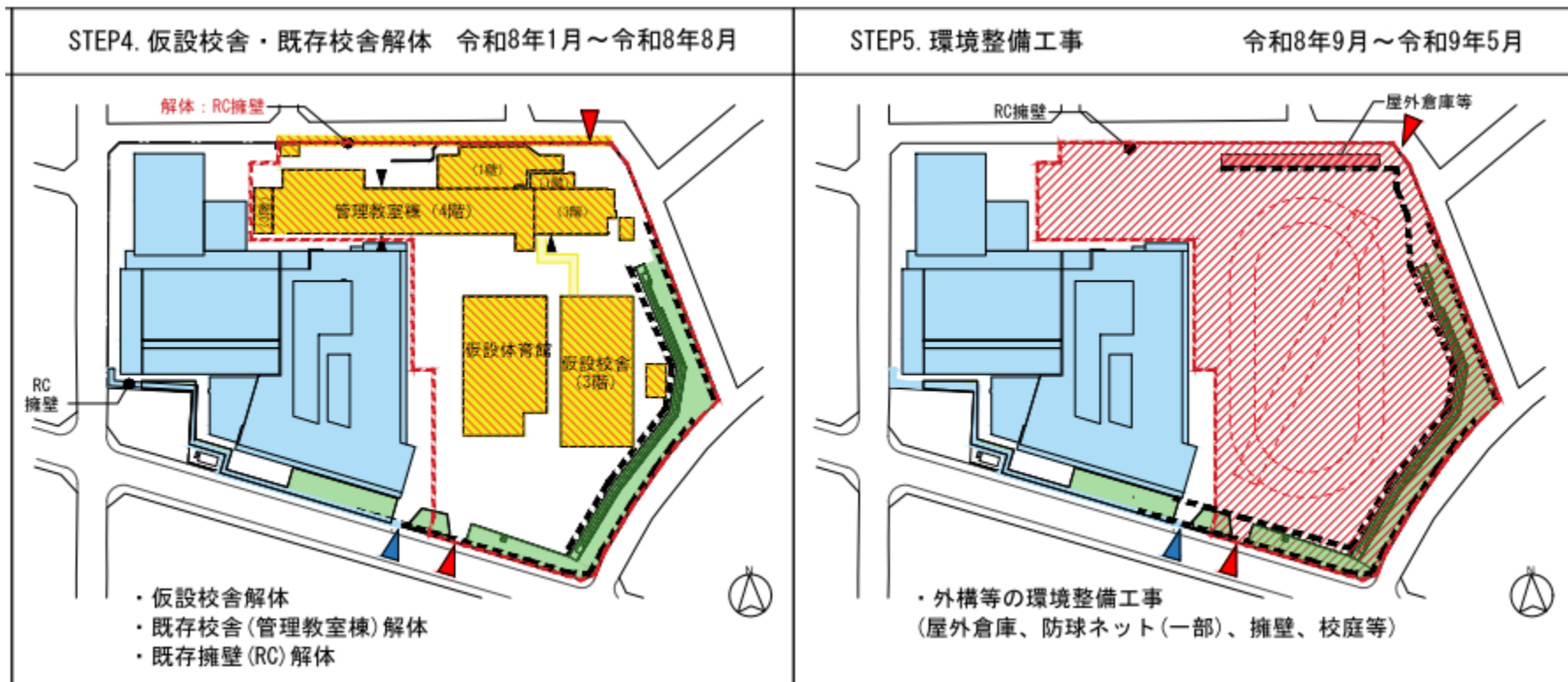
生徒動線

工事車両

0 10 20 50(m)

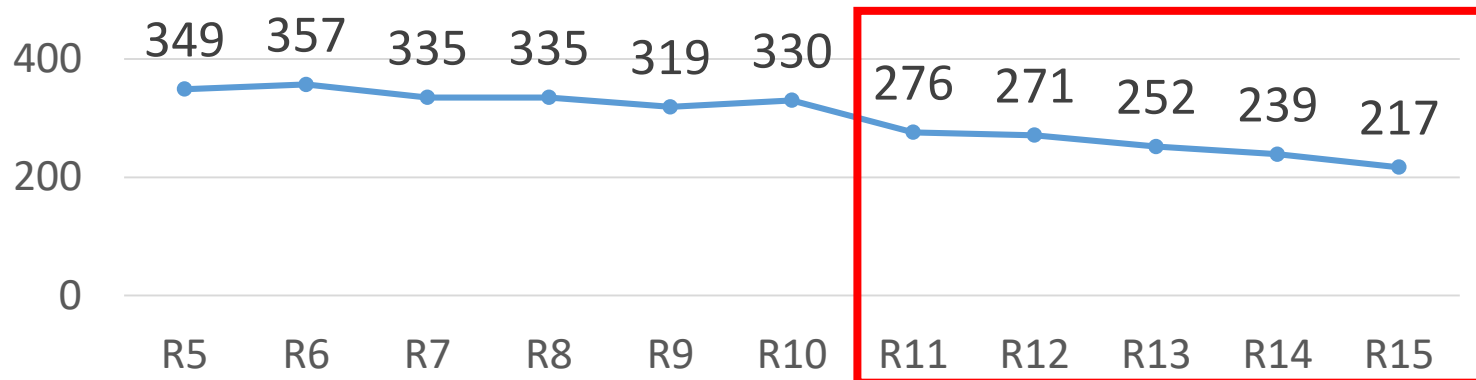
※今後のスケジュールは変わる可能性があります。

改築時の主な課題③－3

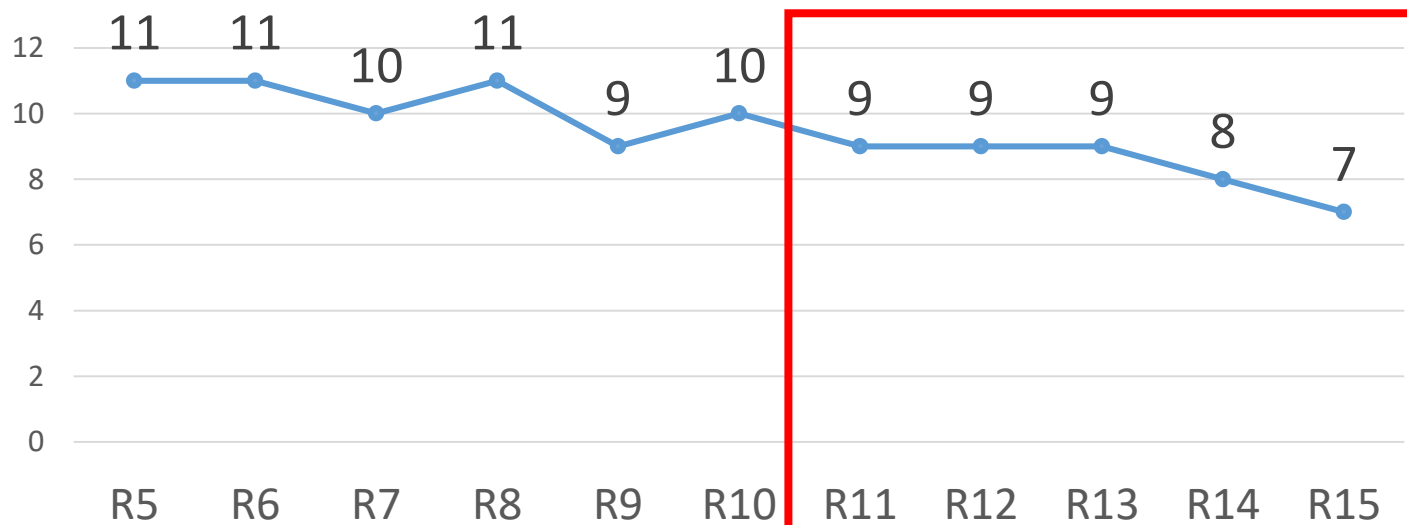


西宮中学校の生徒数・学級数の予想

生徒数（10年予想）

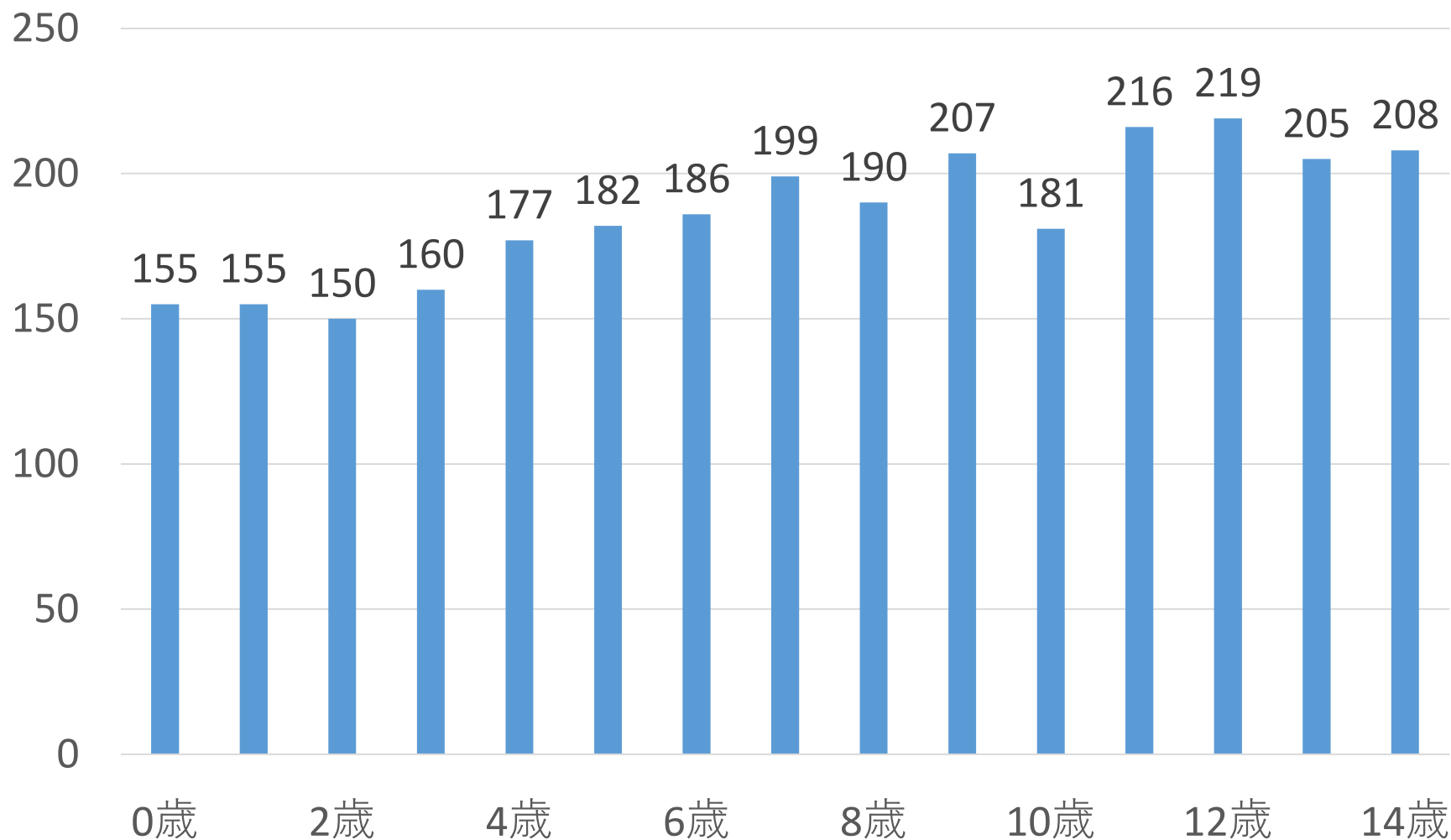


学級数（10年予想）



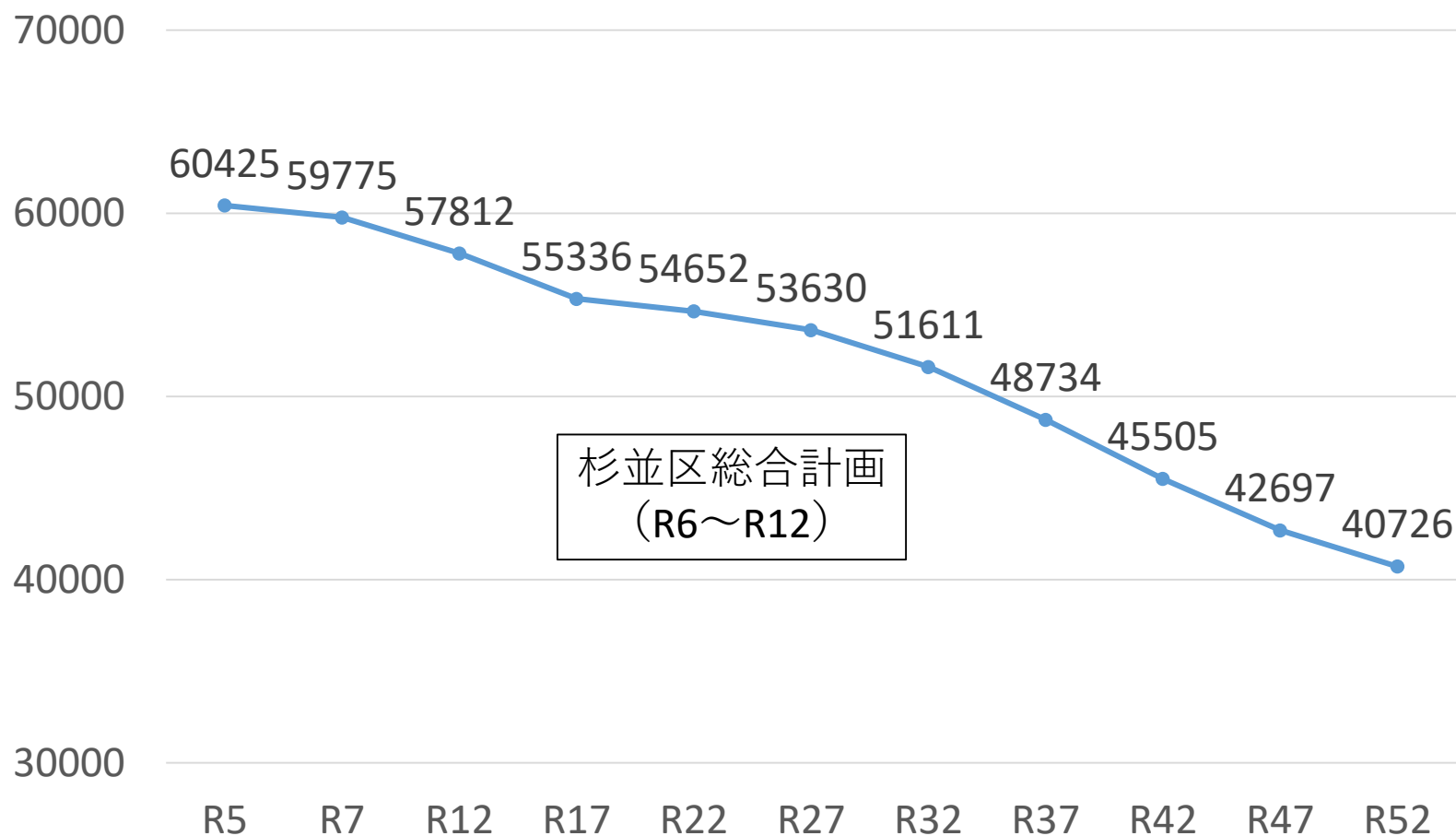
西宮中学区域の人口

西宮中学区域 住民登録人数 (R5.4.1)



杉並区の年少人口

杉並区年少人口推移（将来人口推計）



区からの説明③

- ・宮前図書館について
- ・さざんかステップアップ教室
「宮前教室」について

宮前図書館について

区立図書館とは

○区立図書館について

- ・生涯学習に必要な資料や情報を提供し、区民の学習や文化活動を支援する社会教育機関です。
- ・蔵書の貸出のほか、レファレンス(調査・相談)による区民の課題解決に応えるサービスや、講演会などの事業を通じて、利用者の活動意欲を高める役割を担っています。

○区内の配置について

- ・徒歩圏内で図書館サービスが受けられるようにするため、7つの地域に2館ずつ図書館を整備することとしており、現在13館で運営しています。また、図書館の利用者サービスを補完する施設として、3か所の図書サービスコーナーと1か所のふれあい図書室を設置しています。

区立図書館サービス基本方針

○「杉並区図書館の未来像」

- ・ 図書館を取り巻く状況が大きく変化する中、区民のニーズを的確に範囲反映し、図書館サービスの向上を図るため「図書館から広がる知と対話」をキャッチフレーズとして、概ね10年後を見据えた「杉並区立図書館の将来像」を描いています。また、3つの視点として「学びの場」、「知の共同体」、「楽しい交流空間」を掲げ、それぞれの「将来像」と「取組の方向性」を示しています。

「杉並区立図書館の将来像」（概ね10年後）

- 人生100年時代を自分らしく生きるための「学びの場」となっています。
- 地域の情報拠点、ネットワークの拠点として整備され、地域の人々が集い、学び、活躍する「知の共同体」となっています。
- 家庭や学校・職場と並ぶ「第三の場（サードプレイス）」となり、そこから図書館に集う人々の「楽しい交流空間」が生まれ、「知」と「対話」が広がっていきます。

区立図書館(全体配置図)

令和5年(2023年)4月時点

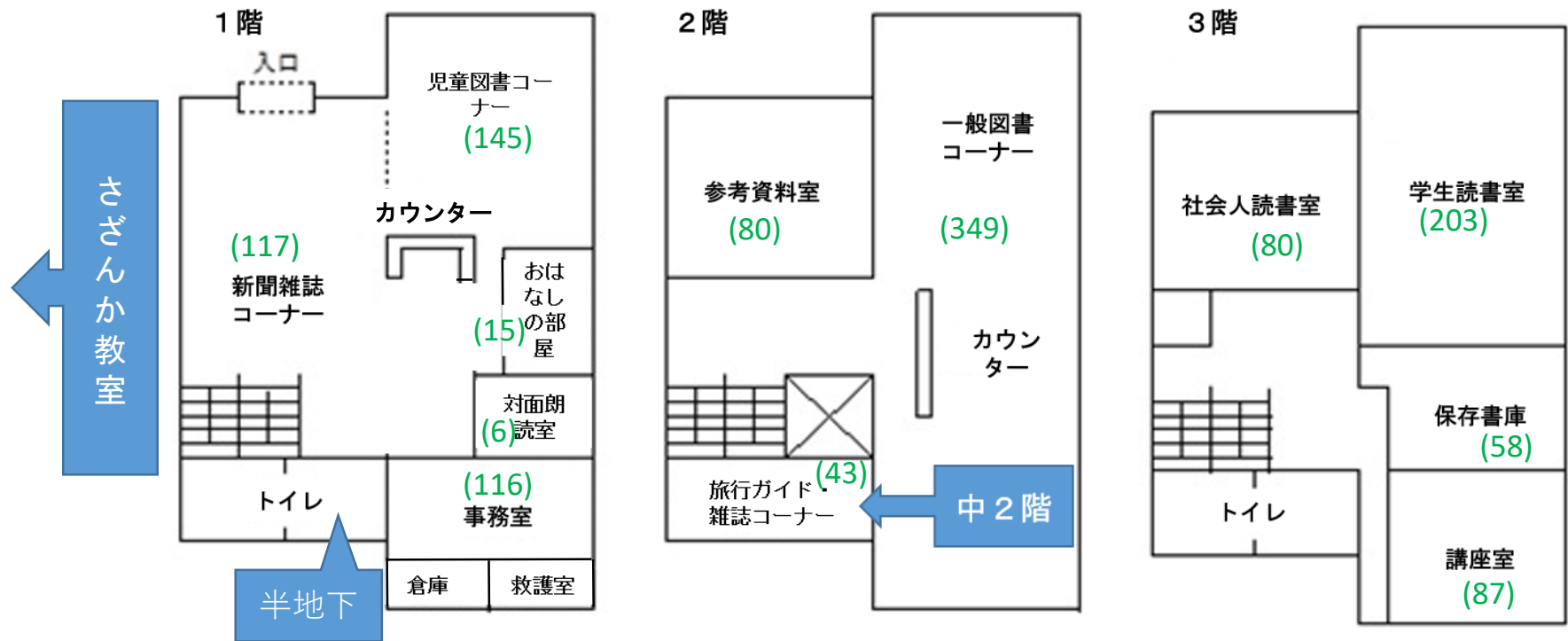


凡例
 ● 図書館
 ■ 図書サービスコーナー等

築年数
 ● 50年以上
 ● 40年以上50年未満
 ● 30年以上40年未満
 ● 20年以上30年未満
 ● 10年以上20年未満
 ● 10年未満

宮前図書館の平面図

※平面図内緑色数字は床面積 (㎡)



【施設概要】

- 開設年月日：昭和47年（1972年）11月1日（築51年）
- 建物：鉄筋コンクリート造 地下1階・地上3階
- 延床面積：建物全体2,324㎡（図書館1,974㎡、さざんか教室350㎡）
- 敷地面積：1,691㎡

宮前図書館の現状と今後の方向性

○現状

- ・ 築51年を経過し、施設全体の老朽化が進み、空調の温度管理（空調の稼働停止）や各種配管漏水（トイレのつまりなど）といった不具合が頻繁に発生
- ・ 誰もが気軽に立ち寄れ安心して利用できるようエレベータを設置するなど館内のバリアフリー化が必要

○今後の方向性

- ・ 現地改築、移転改築のほか、現在の建物を改修して引き続き使用することも考えられる
- ・ 改築する場合は、集会施設をはじめとした他施設との複合化・多機能化を検討するほか、区民の調査・研究活動に役立つ外部データベースの提供等やICタグシステムの導入による効率的な蔵書管理など、施設全体の規模のスリム化や蔵書利用の利便性向上を図り、杉並区立図書館サービス基本方針が目指す図書館像の実現に向けて取り組む

宮前図書館の改築時等の課題

○現地改築する場合

- ・ 現行法では、敷地面積に対して許容容積率が100%であり、延床1,691㎡以上の建物を建てることはできないため、読書室や新聞雑誌コーナーなど諸室・コーナースペースの規模の見直しが必要
- ・ 約3年間の休館が必要

○現在の建物を改修する場合

- ・ 不具合対応として、機器の入替等の大規模改修は可能であるものの現行法の許容容積率を超えていること等から、エレベーターの設置等は困難
- ・ 一定期間の休館が必要

さざんかステップアップ教室
「宮前教室」について

杉並区の教育相談・不登校支援について

- いじめや不登校のみならず、教育相談の内容が多様化、複雑化、重篤化していることから、子ども一人ひとりを中心に据え、それぞれの悩みや課題、背景。要因に早期に関わり、適切に対応できるよう、児童・生徒への理解に関わる教員等の資質向上を図りながら、教育相談体制の充実を目指します。
- 増加傾向にある不登校児童・生徒一人ひとりが自分に合った学習や活動の場を選択できるよう、学校や各関係部署と連携しながら、多様な学びの場や居場所を確保し、それぞれの活動を通して社会性を身に付けていけるような支援を目指しています。

【教育相談体制の事業について】

①教育相談

子どもの教育に関する心配ごとや悩みなどについて、専門的な立場から心理士がカウンセリングや助言を行ったり、関係機関と連携し、相談内容に応じた総合的な支援を行います。
来所の相談以外に、電話での相談(匿名も可)もできます。

②スクールカウンセラーの配置

いじめや不登校等の未然防止や解決、学校内の教育相談支援のため、区立学校全校にスクールカウンセラーを配置しています。

③スクールソーシャルワーカーの配置・派遣

スクールソーシャルワーカーは、様々な困難や問題を抱える子どもを支援するため、家庭・地域・学校・関係機関等に対して調整・仲介役の役割を担う福祉の専門家です。区内の拠点校に配置しています。

杉並区の教育相談・不登校支援について

【不登校児童・生徒支援体制の整備について】

① さざんかステップアップ教室(適応指導教室)

杉並区に在住する不登校の小・中学生を対象に、集団生活を通して社会性を育み、社会的自立等を目的とした支援を行っています。支援に当たっては、教科学習・教育相談・レクリエーション・体験的活動等を組み合わせた個別の活動計画を作成し学習や生活の状況について家庭・学校と適宜連絡を取り合い連携を図りながら支援しています。

② 教育相談グループ(すぎぽーと)

不登校児童・生徒が小集団で心理士との創作活動等を通して安心できる人間関係をつくり、自分に合った学びの場を考えることを目的とした教育相談です。

さざんか教室よりも少人数の活動が適している児童・生徒が対象です。

杉並区の教育相談・不登校支援について

③ふれあいフレンドの派遣

不登校で引きこもり傾向のある児童・生徒を対象に、教育学科や心理学科の学生を家庭等に派遣する事業です。

④校内別室指導支援事業

不登校傾向で、学校内の教室以外の場所であれば登校できる児童・生徒のための居場所(校内別室)について、そこで活動するボランティアへの謝礼の支払いや、校内別室の運営に関する助言など、学校への支援を行っています。

⑤学びの多様化学校の設置検討

学びの多様化学校とは、不登校児童・生徒のため特別な教育課程を編成して教育を実施する学校です。
杉並区での設置に向けて検討を始めています。

さざんかステップアップ教室とは

- 不登校またはその傾向にある児童生徒を対象に、教室での集団生活への適応、基礎学力の補充、体験的な活動などの教育支援を行い、まずは安定して通室できるような支援を行います。
- 通室が安定してきたら、教室の職員(指導員・心理士)と一緒に次のステップを考えていきます。学校復帰だけが目的ではなく、児童生徒がそれぞれに合った目標や進路を見つけることを目指しています。
- 各教室によって時間割りや活動内容に特色があり、通室頻度や通室時間は本人の状態や希望に合わせて決めることができます。遠足や社会見学、宿泊などの行事も行っています。

教室名	対象者	登録者数	設置場所	設置年度
宮前教室	小学校5・6年生、 中学生	小:8人 中:37人	宮前5丁目5番27号 宮前図書館併設	平成27年9月 (2015年)
天沼教室	中学生	42人	本天沼3丁目10番20号 天沼中学校併設	平成5年11月 (1993年)
和田教室	中学生	31人	和田1丁目41番10号 3階 ゆうゆう和田館等併設	平成13年9月 (2001年)
荻窪教室	小学生	65人	天沼3丁目15番20号 3階 旧若杉小学校内	平成24年7月 (2012年)

さざんかステップアップ教室「宮前教室」の概要

【施設概要】

- 延床面積:建物全体2,324㎡
(さざんか教室350㎡、図書館1,974㎡)
- 敷地面積:1,691㎡
- 1階 学習エリア(64㎡)、交流エリア(64㎡)、事務室(30㎡)
トイレ等
- 2階 学習スペース(60㎡)、オープンスペース

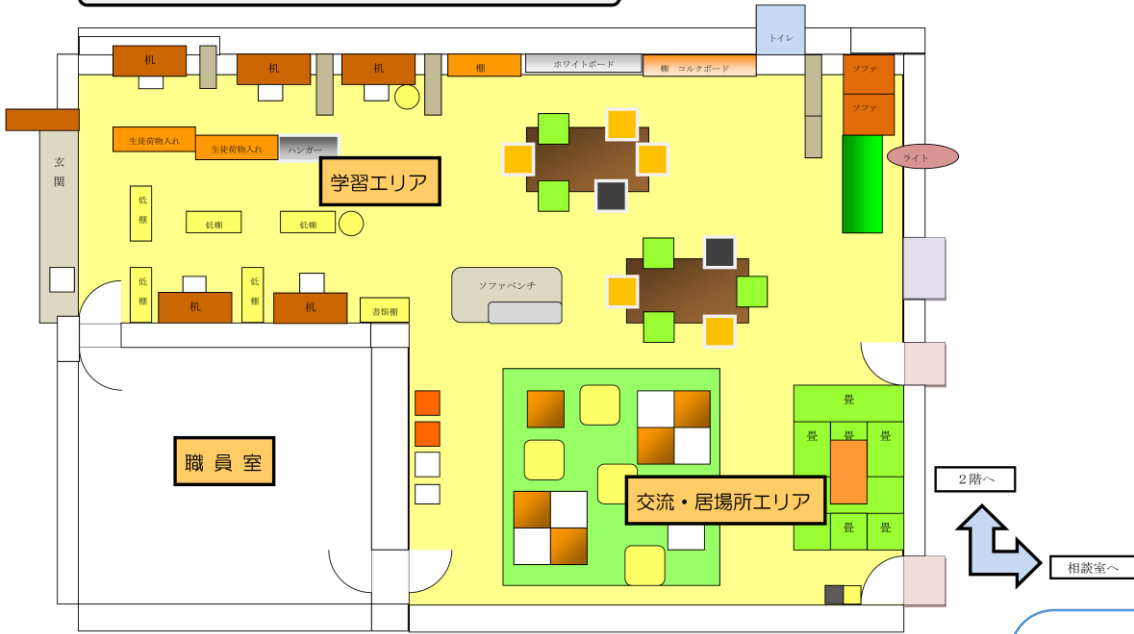
【利用者について】

- 登録児童・生徒数:45人(令和5年度)
- 1日当たりの通所者数:10人~15人程度
- 対象地域:杉並区内全域
※今年度は近隣の西宮中、宮前中、高井戸中の通学区域の生徒が多い。

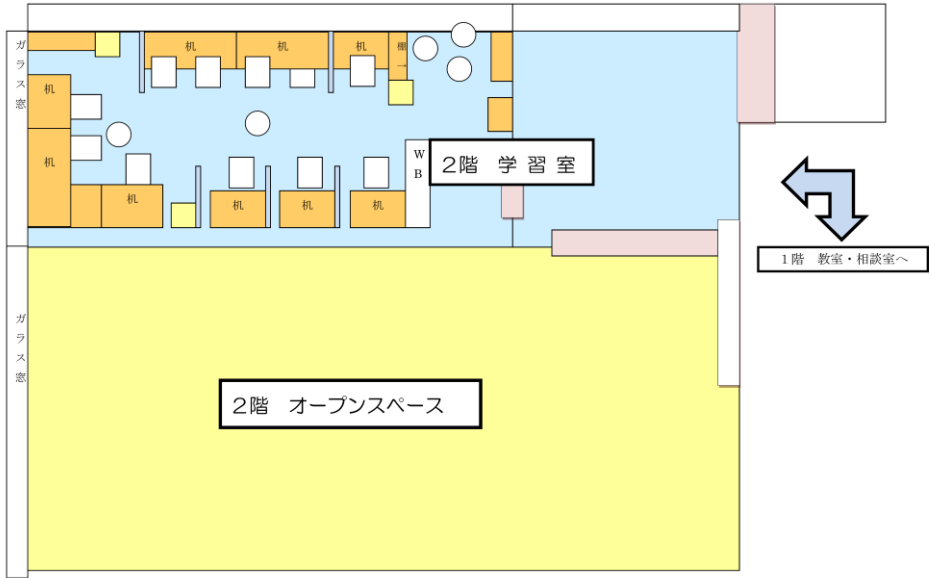
さざんかステップアップ教室「宮前教室」の平面図

さざんかステップアップ教室「宮前教室」レイアウト

【1階】



【2階】



※2階オープンスペース等は、以前の施設（旧高井戸区民事務所宮前分室）で会議室を利用して、宮前地区町会連合会、宮前五丁目北地区防災防犯会、宮前五丁目南地区防災防犯会、宮前青少年委員会が、通所児童・生徒が帰宅した後から職員の業務終了までの間、会議等で利用することがあります。

さざんかステップアップ教室「宮前教室」の改築の課題

○現地改築

改築期間中の仮移転先の確保が必要。

築51年が経過しており、施設の老朽化が進んでいる。

敷地内に延床1,691㎡以上の建物を建てることできないため、併設施設の必要面積によっては、さざんかステップアップ教室の延床面積の調整が必要。

○現在の建物の改修

仮移転先の確保が問題となる。

○移転改築

移転先の用地が限られている中、比較的小規模な施設のため、他施設との複合化の検討が必要。

複合化においては、利用する児童・生徒によっては配慮が必要だが、他施設の利用者との動線を分けることを前提に、児童・生徒にとって多方面でのメリットが見込める場合もある。

○図書館

現在も宮前図書館と同じ敷地内にあり、通室児童・生徒が本を借りたり、図書館行事に参加したり等の交流がある。
本にふれることや読書の習慣が身に付き、教育面でもメリットがある。

○集会施設や高齢者施設・障害者施設等の福祉施設

同じ建物の場合は、他の施設との動線が確保されていれば特に問題はなく、機会があれば各施設との交流も可能。
幅広い年代の方と接することも良い影響があると考えられる。

○区立小中学校

動線が確保されていれば併設も可能だが、不登校の児童・生徒によっては学校と同じ建物にあることで心理的に負担になることもある。また、既に天沼教室が学校と併設になっているため、差別化を図るためにも宮前教室については学校以外の施設との併設が望ましい。

休 憩

グループワーク

西宮中学校、宮前図書館・さざんかステップアップ教室「宮前教室」の説明で分かったこと・気になった点等をグループ内で意見交換しましょう！

(50分)

全体共有

他のグループでどんな意見が出ているのか、
回って見てみましょう！

(20分)

事務連絡

○アンケートの提出について

【インターネット】6月2日(日)までに入力

【紙】本ワークショップの最後に回収

○次回のワークショップについて

【日時】令和6年6月22日(土) 午後2時から

【会場】高井戸第二小学校 ランチルーム

【内容】・大宮前保育園・ゆうゆう大宮前館を取り巻く
状況や建て替え時の課題を考える
・施設整備において大事にしたいこと・大切に
したい視点を考える